

JASA改革プロジェクト 組込み業界の未来を切り拓く

副会長 渡辺 博之

現代社会は急速な変革の中にあります。技術革新が加速し、企業は新たな市場環境への適応を強いられています。特に組込み業界においては、AIの進化、仮想化技術、サイバーフィジカルシステム (CPS) など、革新技術が急速に進展しています。

このような背景の中、JASA (組込みシステム技術協会) は業界全体の発展を支えるため、「JASA改革プロジェクト」を立ち上げました。本記事では、このプロジェクトの背景、目的、具体的な活動内容、そして今後の展望について詳述します。

世の中の変化と組込み業界の対応

現代社会は急速に変化しており、特にVUCA (Volatility: 不確実性、Uncertainty: 不安定性、Complexity: 複雑性、Ambiguity: 曖昧性) 環境において、企業経営の難易度が増えています。市場環境の変動が激しく、従来の成功モデルが通用しなくなるケースが増加しています。そのため、企業は柔軟性を持ち、継続的な変革を進めることが求められています。

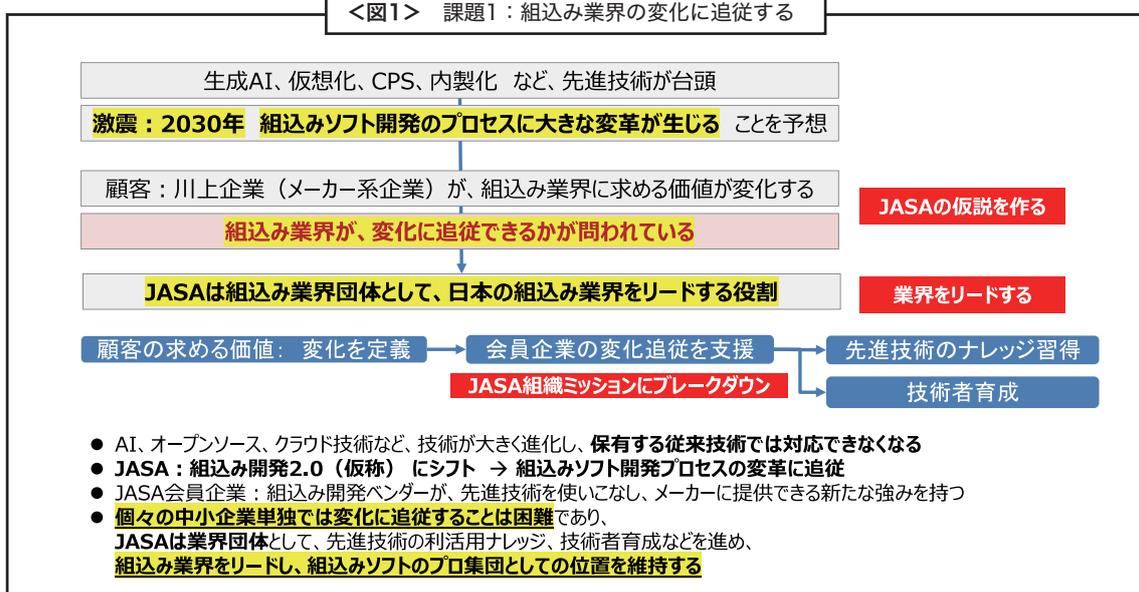
ソフトウェア開発技術も急速に進化しており、高度化・多様化が進んでいます。アジャイル開発やDevOpsといった新しい開発手法が普及し、短期間でのリリースが求められる時代となりました。クラウド技術の進展により、システムの柔軟性と開発・運用の効率化も進んでいます。

組込み業界もこのような変化に直面しており、前述したように生成AI、仮想化技術、CPSなどの先端技術が台頭しています(図

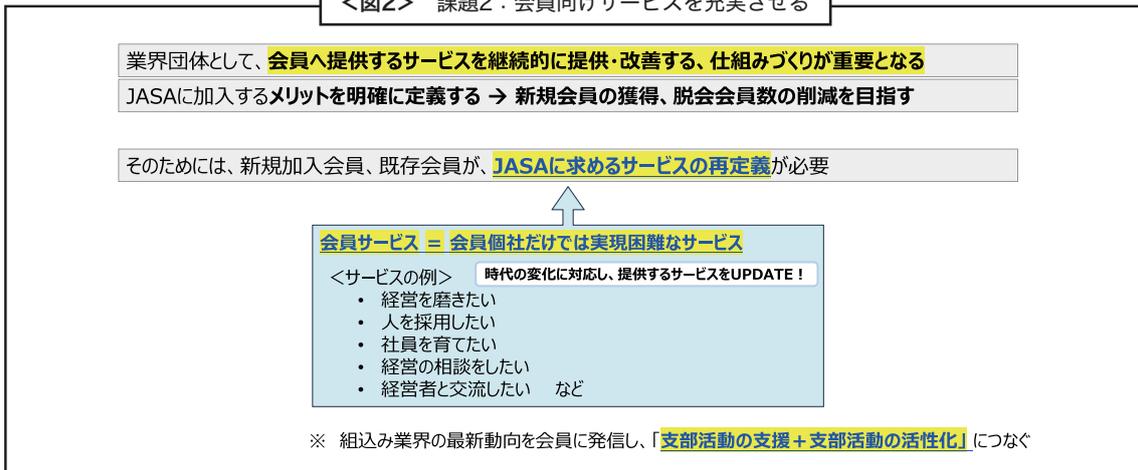
1)。ソフトウェアデファインドと呼ばれる、従来のハードウェア中心の開発からソフトウェア主導の開発へとシフトしており、新たな技術への適応が急務となっています。

さらに、組込みシステムの適用領域は、自動車や家電にとどまらず、医療機器やスマートシティなどに広がりを見せており、これに伴いソフトウェアの重要性が一層高まっています。品質や安全性を確保しつつ、迅速な開発を実現するためには、技術

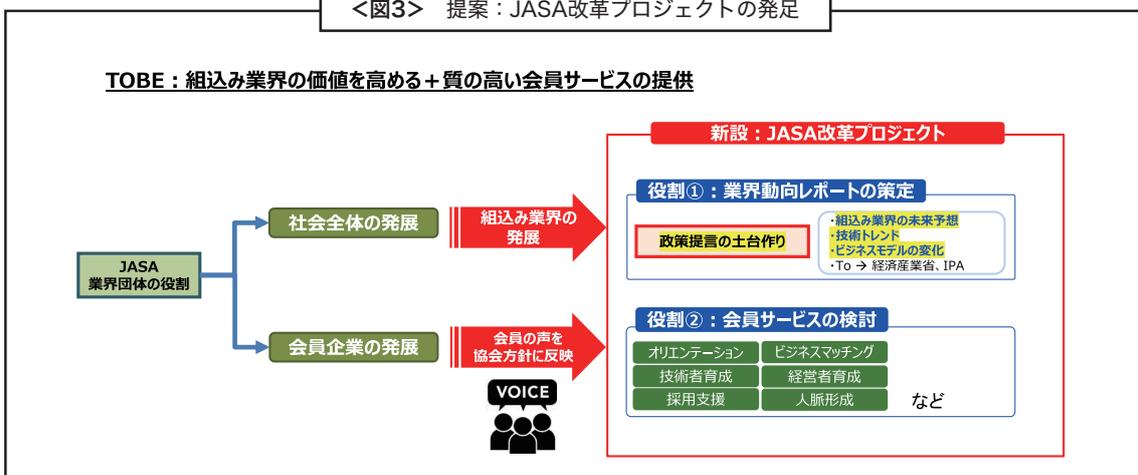
<図1> 課題1：組込み業界の変化に追従する



<図2> 課題2：会員向けサービスを充実させる



<図3> 提案：JASA改革プロジェクトの発足



者のスキル向上と開発手法の最適化が求められています。

期待される業界団体の役割

このような急速な技術革新の時期において、個別の企業が単独でこれらの変化に対応することは非常に困難です。特に、中小企業にとっては新技術のキャッチアップや人材確保は大きな課題となっています。このような状況においては、業界団体の果たすべき役割がこれまで以上に重要となっています(図2)。

業界団体は、業界全体の発展を促進し、会員企業の成長を支援する役割を担っています。企業単独では対応が難しい技術革新に対して、業界全体で知見を共有し、技術の標準化や人材育成を推進することが求められています。

JASA改革プロジェクト

JASAは組込み分野における業界団体として、業界全体の発展に貢献していくことが期待されています。上記の状況を踏まえ、今年から新たに「JASA改革プロジェクト」を立ち上げ、組込み業界の変化に適応し、業界全体をリードするための新たな取り組みを進めていきます(図3)。

本プロジェクトの目的は、以下の2つに集約されます。

1. 組込み業界の未来予測と対応策の策定

- ・ 社会や技術の変化を予測し、それを踏まえた組込み業界の将来像を描きます。
- ・ 技術トレンドやビジネスモデルの変化を分析し、業界として進むべき方向性を明確化します。

・ 会員企業に対し、将来の市場動向や技術トレンドを理解し、戦略的な意思決定をサポートする情報を提供します。

・ これらの知見を基に、経済産業省やIPAへの政策提言を行い、業界全体の成長戦略を策定します。

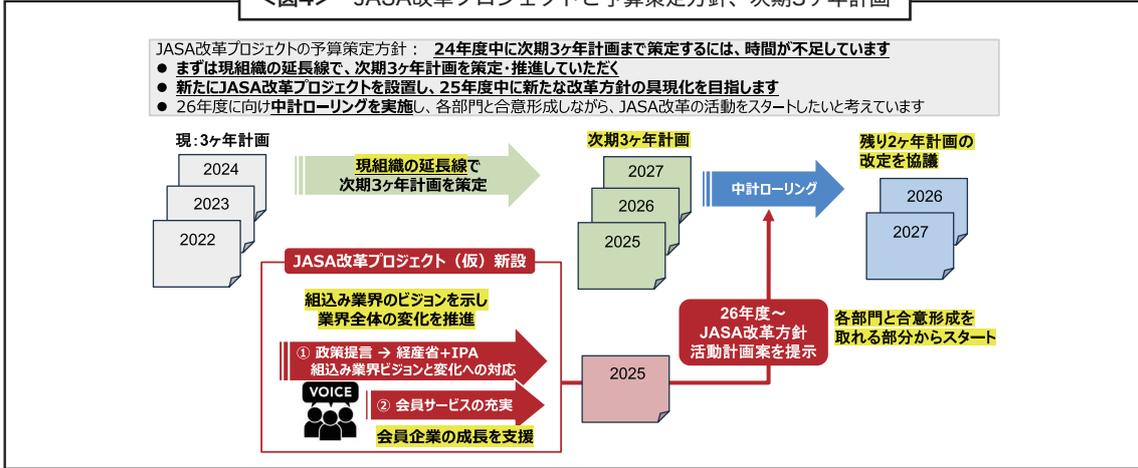
2. 会員企業向けサービスの充実

・ 経営強化や技術力向上をサポートする、企業単独では実現が難しいサービスを提供します。

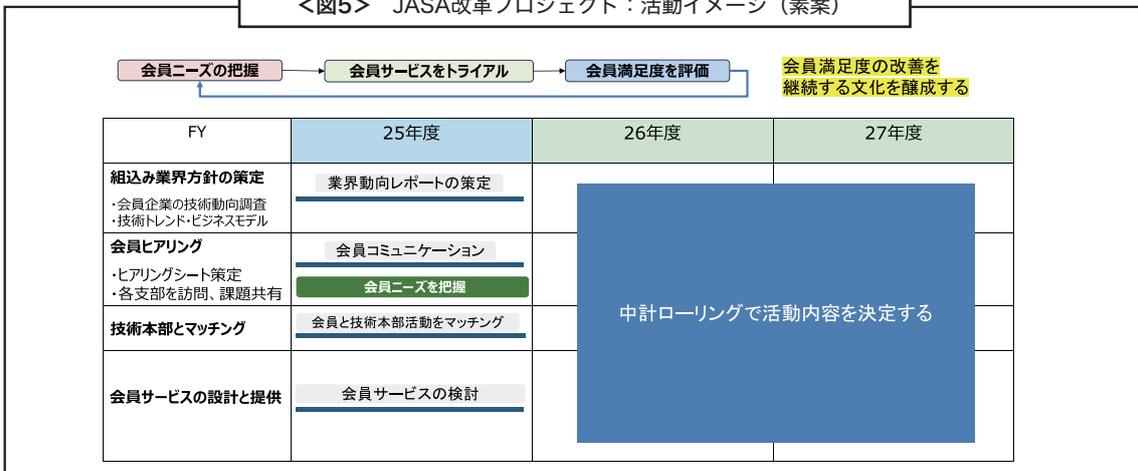
・ 特に、経営相談や人材採用、社員教育、経営者交流など、会員企業が抱える課題解決を支援する多様なサービスを提供し、会員企業の成長を促進します。

・ また、会員企業にとって有益な研修プログラムや技術交流イベントを実施し、最新の技術動向に対する理解を深めてもらうと

<図4> JASA改革プロジェクトと予算策定方針、次期3ヶ年計画



<図5> JASA改革プロジェクト：活動イメージ（素案）



ともに、企業の競争力強化を支援します。
・組込みシステム技術の普及と標準化を推進し、業界全体の技術レベルの向上に寄与するための取り組みも強化します。

2025年度の活動

JASA改革プロジェクト元年となる2025年度は、次の4つを柱に据えています。

① 会員企業の技術動向調査

会員企業がR&Dに取り組んでいるテーマ、あるいは課題と考える技術分野など技術動向調査を実施し、会員企業の強みと弱みを把握します。

② 未来予想レポートの作成

業界の現状や技術トレンドを把握するための市場調査や専門家へのヒアリング

等を実施し、その結果を会員企業に提供します。
これにより、企業は戦略的な意思決定を行いやすくなります。

また、このレポートを基に、JASA各部門の活動テーマを設定し、連携を強化します。

③ 会員の困りごと、サービスニーズの調査

会員企業の声をヒアリングし、会員企業が抱える課題や期待に応じた、新たなサービスの設計を進めます。

④ 会員コミュニケーションの活性化

新会員へのオリエンテーションや、既存会員との交流機会を増やすことで、会員企業間での知識共有やネットワーキングを促進します。

JASAは2025年度から新たな次期3カ年計画がスタートします。JASA改革プロジェクトはこの次期3カ年計画と連携して推進され、初年度となる2025年度のプロジェクト活動報告を踏まえ、新たな活動方針の提言、2026年度および2027年度の計画立案・推進につなげていきます(図4、5)。

まとめ

JASA改革プロジェクトは、組込み業界の急激な変化に対応し、業界全体の成長を支える重要な取り組みです。このプロジェクトを通じて、会員企業の競争力を高め、JASAの役割をさらに強化していきます。

会員企業の皆さまの声が重要なキーを握っていますので、プロジェクトへの積極的なご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。